

第5回酒田市総合計画審議会会議録

日 時 平成19年7月26日(木) 午前10時～午前11時00分

会 場 総合文化センター412号室

◎出席者

・会長

齋藤 成徳

・委員

檜山 實 池田 幸雄 山中 俊 小林 隆逸 大井 よ志子

齋藤 藤八 富樫 秀克 中瀬 義秋 星川 功 日下部 仁司

高橋 敏一 武田 恵子 服部 正規 佐藤 吉雄 富田 ユリ子

齋藤 義明 柴田 俊弥 小松 隆二 佐藤 英治

・欠席委員

池田 正昭 本間 清和 齋藤 龍彌 和田 明子

・事務局職員

松本 恭博 阿部 雅治 菅原 信二 後藤 重明 阿部 勉

菊池 裕基 熊谷 智 大谷 謙治 前田 茂男 佐藤 瞳

1 開 会

2 協 議

(1) 酒田市総合計画（案）について

(2) その他

3 その他

4 閉 会

開会 午前10時

1. 開 会

○事務局（菅原信二） 本日は、お忙しい中、総合計画審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、第5回酒田市総合計画審議会を開会いたします。酒田市総合計画審議会条例第6条の規定により、会長が議長になることになっております。それでは、会長よろしく願いいたします。

○会長（齋藤成徳） それでは、ただ今から「第5回酒田市総合計画審議会」を開会いたします。なお、本日の出席委員は21名で、委員定数25名の過半数を超えておりますので、酒田市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、会議が有効であることを報告いたします。

総合計画の策定作業もいよいよ大詰めとなってまいりました。今月上旬には、各部会を開催し、総合計画第1次原案[修正版]についてご意見をいただき、本日その意見を踏まえて、最終案である「酒田市総合計画（案）」が提案されております。委員の皆様より、同案についてご審議いただき、貴重なご意見をいただきながら、さらに良い計画案にしていきたいと思っております。

2. 協 議

○会長（齋藤成徳） それでは、次第に従いまして「2. 協議」に入ります。「(1) 酒田市総合計画（案）」について説明を事務局よりお願いいたします。

○企画調整課長（阿部雅治） 資料説明。 — 省略 —

○会長（齋藤成徳） ありがとうございます。8月10日に市長に答申する予定でおりますが、みなさんのご意見を頂戴しながら、さらに良い答申にしたいと思っております。ただ今説明があった件について、まずはご質問、ご意見があればお願いいたします。

○委員（服部正規） 私は、部会にあまり出席できませんでしたので、この場をお借りしてお話させていただきたいと思います。まずは、基本理念の「心豊かに健やかで未来に向かうまちづくり」の部分に「若者が、夢を実現でき、活躍の場が広がるまちづくりを推進します。」とありますが、施策の中にその部分を指すような文面がなかったように思います。

また、第1章第1節（2）小中学校教育の充実に、ゆとり教育を示す「体験学習活動を充実し、自らが興味を持って学ぶ力」という表現があります。学力の低下が話されている今、このような表現は、新しい教育再生法との間に相異が生じるのではないのでしょうか。これからは、「確かな学力の向上」や「基礎学力の回復」といった文言の方が良いのではないのでしょうか。

第4章では「地域防災リーダーの育成」とありますが、これは既に自治会や地域コミュニティ組織の中にでき上がっていると思います。「リーダーの育成」というよりは、むしろ「セミナーの開催」などとした方が良いのではないのでしょうか。

2節では「地球温暖化防止の推進」とありますが、具体策がないので何を推進するかがわかりません。環境負荷の少ない自動車の購入やクールビズ、省エネなど、個人にできるものもたくさんあるので、これらを推進するような表現の方が良いと思います。

第7章「酒田港の機能充実」のためには、高速道路の利用など、インフラ整備も必要だと思います。

○会長（齋藤成徳） ありがとうございます。ただ今頂戴したご意見について、事務局の考えをおねがいします。

○企画調整課長（阿部雅治） 基本的にはご意見として伺って、所管課と相談しながら、修正するものは修正していきたいと考えています。地域リーダーの育成については、様々な意見がありますが、これは、防災組織の中で引っ張って行く人がいないといった実状を踏まえた

ものです。地球温暖化の防止については、ここでは包括的に記載し、具体的内容についてはいろいろな事業の中で検討していくというようなことです。港湾・高速道路の書き方や基本理念についてもご意見を尊重して検討させていただきます。

- 会長（齋藤成徳） 今のような回答でよろしいでしょうか。
- 委員（服部正規） ありがとうございます。地球温暖化の問題は、市民一人ひとりが取り組む具体的推進策を記載した方が、市を挙げて地球温暖化に取り組んでいることがわかりやすいと思います。また、若い世代との交流から、夢を持つ人は多くいるのに、実際には活躍する場がないということを強く感じています。例えば、海を利用した若者が集まる場づくりへの支援策などが載っていると、若者が夢を持てるようなまちにできると思います。助成金など、やる気のある若者への支援対策の充実をお願いしたいと思います。
- 企画調整部長（松本恭博） 総合計画は、みなさんの意見や市民の意見、所管課の意見を一つひとつすり合わせて書かせていただいておりますが、酒田市の大きな方向性を議論するものでありまして、一つひとつの具体的事案をどうしよう、こうしようというものではありません。総合計画の下に、環境基本計画や福祉計画などの個別計画がぶら下がってまいります。さらに、具体的な事務事業として、市・市民・事業者の分担が決まってまいります。それらに具体的な予算措置がなされ、行政のかかわり方が決まってくるというような考え方になっております。6ページにあるように、市町村が決めなければならないのは、「基本構想」の部分です。一つひとつの事案を議論するのではなく、大きく総合的に議論して決めるというのが総合計画の主旨でございます。ですから服部委員がおっしゃいました、個別具体的な事案については、それぞれの予算措置で具現化していくものと考えております。また、「自ら興味を持って学ぶ力」といった教育に関する表記は、国とのかかわりもありますが、決してゆとり教育ということだけではございません。一方的な座学だけでなく、調べ学習なども総合的に議論しておりますので、ご理解いただきたいと思います。
- 会長（齋藤成徳） 貴重なご意見ありがとうございます。細部に検討いたしまして、具体化していく方向だと思います。
- 委員（服部正規） 繰り返しになりますが、基本理念で若者の夢の実現について述べているのに、本文に当てはまるものが全くないというのは残念な気がいたしましたので、ご意見させていただきました。
- 会長（齋藤成徳） ありがとうございます。その他に何かございませんでしょうか。
- 委員（武田恵子） 小中学校教育の充実について、現場の教員として個人的に申し上げます

と、これは、今の時代と次の10年間を見越して、ある意味総括的な表現であるのご理解いただければと思います。

13ページの高等学校教育の充実で、今進んでいる県立高校の再編について、今後変わってくる可能性も考えると、こんなに書いても良いものかと思います。

関連して56ページ、重点プロジェクトの事業主体の表現を見ますと、「市」と「行政」が混在しています。また、「家庭、学校、地域」とあります。これらの事業は、現在も行っているものですが、さらにそれらを全て上積みするというのは、家庭にとっても学校にとっても、そして地域にも大きな負担となるのではないのでしょうか。部課長会の意見シートでも事業主体の整理が必要と書いていますが、これで整理は終わったのでしょうか。事業主体に主力、軽重があるとすれば、できれば重い方から順に整理し直していただければと思った次第です。

また、57ページの目標数値に「体力向上の割合」とあり、具体的に50m走に限定していますが、酒田市の場合は投げる力も落ちています。そこは入れなくて良いのでしょうか。

「公益、道徳性を養う体験学習の割合」も含めて再考いただきたいと思います。

○会長（齋藤成徳） それでは、今のご質問に対して回答をお願いいたします。

○企画調整課長（阿部雅治） 13ページの高校再編については、策定の段階でもっと具体的に書いてほしいというご意見があって、総合選択制という言葉を入れたという経過がございます。これは、こういう形でもう既に動いてございますので、わかりやすく入れたということがございます。書かない方が良いということであればご意見として伺います。重点プロジェクトの事業主体については、私どももかなり論議させていただいております。まず、市と行政については、「行政」は、市・県・国の行政機関ということで、「市」と区別させていただきました。区別が曖昧なものについては、もう少し具体的に記載することで整理いたしました。並び順が優先順位ではないことをご理解いただくとともに、また、それらの説明については、持ち帰って工夫させていただきたいと思います。それから、57ページの体力向上については、所管課とも相談し、精査させていただくということでよろしく願いいたします。

○会長（齋藤成徳） 今回の回答でよろしいでしょうか。そのほか何かございませんでしょうか。

○委員（小松隆二） 各部会等の意見を良く取り入れて、全般的には大変わかりやすくまとめていただいたと思います。そこで、細かいことと大きいことを一つずつ述べさせていただきたいと思います。まず10ページの基本理念「創造が世界に広がる活力あるまちづくり」で

「豊かな自然と美しい景観を保全し」に直したということでしたが、美しい景観は保全だけでは足りないのではないかと思います。一般に日本の田舎は、美しい景観の方が少ないと言われているので、保全と同時に創造する必要があると思います。69ページを見ますと、土地利用の基本方針③で「美しい景観の形成」となっています。「形成」や「創造」といった積極的につくり上げ、直していくような部分もお考えいただければと思います。それから、基本構想を具体的なものにつなぐ意味で、市長あいさつで若干考慮する対応方針が出ているところもありますが、基本構想はどうしても「穏やかさ」や「保全」、「安定」が目立ってくるので、酒田市として地方から創造を発信し、積極的に打って出るというような新進気鋭の高い姿勢をあいさつ等で市長が打っていただければありがたいです。

○会長（齋藤成徳） ありがとうございます。事務局の回答をお願いします。

○企画調整課長（阿部雅治） 美しい景観の「保全」と「形成」とは、整合が足りなかったもので、精査検討させていただきます。あいさつについては、市長と一緒に考えていかなければならないわけですが、市長からも夢あふれるもの、対外的に発信できるものと言われているので、その辺も含めた形でまとめさせていただきたいと思っております。アドバイスなどございましたら、よろしくお願いたします。

○会長（齋藤成徳） ありがとうございます。

○委員（佐藤吉雄） 67ページ財政運営のところ、2行目に「今のところ特に厳しい状況には至っていませんが」とあります。これまで、事あるごとに「厳しい財政のもとで」という言葉が行政の指導部では非常に強調されてきたように思うので、この前置きは特に気に合いません。「今はまだ夕張市ようにはなっていませんよ」という言い方にも取れますが、希望や夢を託す総合計画の中で財政について出すというのは、極めて面白くない部分になってしまいます。そのことを承知で、ここに出そうとするわけですから、厳しい状況を強調すべきであると思いますし、冒頭にこのような言葉をつけると、今はそうでもないが、これから財政が厳しくなるのか、というような見方になりますので、これは配慮する必要があるのではないかと思います。いかがでしょうか。

○会長（齋藤成徳） ありがとうございます。それでは事務局の回答をお願いします。

○企画調整課長（松本恭博） 委員がおっしゃるように、現実を直視してこれからどうしようかという部分と、これから夢を語っていきましょうという2面性がございます。「厳しい」というのは我々が良く使う言葉ではありますが、では酒田市が裕福かといえば、そうではないのも現状であります。これからの10年を見据えたときに、地方自治体の財政状況は厳し

く、従前のように右肩上がりで推移するという事はなかなか言いづらいものがございます。厳しい財政状況を酒田市の大きな方向性として謳う場合には、悲観的にならざるを得ませんので、客観的に「今のところは特に厳しい状況には至っていません」という表記をさせていただきました。この部分については、もう少しこなれた文章にしたいと思っております。現状のまま同じようなやり方をしていけば、将来的には大変になってきます。これを避けて、夢を語れるようにするために、重点プロジェクトを打ち出しております。また、67ページの中段に「行政サービスの水準を維持しつつ」とあります。財政が厳しいからといって、行政サービスの水準を下げてもいいわけではございませんので、ゆりかごから墓場まで網羅的に、サービスはこれまでの水準を確保していきます。しかしながら、各種の施策を確実に実行していく中で、やはり行政効果・合併効果を生かし、財源を選択と集中により将来的にも安定した形に持っていきたいというのが、眼目の部分でございます。

○委員（佐藤吉雄） 財政の見方はいろいろあるにしても、「現状はそんなに厳しくない」という表現は、いささか、常日頃承っている情勢とは違うのではないかと思います。19年度予算を策定する際にも大変苦勞をなされたと聞いております。全体が厳しい状況に置かれている中で、読みよう、取りようによっては、などという表現の仕方をすべきでなく、カチンとくるぐらいの厳しさというものを、市民に言うておいても良いのではないかと思います。そして、実際には、夢のあるプロジェクトを作ってやって行きたいということですから、「こういう厳しいところに、こういう事をやるのか、大変だなあ」という印象を与えて、それらをバネに市民が活動に参加していくことこそが、総合計画の求めるところではないかと思えます。厳しい表現をすると面白くなさそうだから、おもねるような言い方になるから遠慮するというのでは、意味が逆になってしまうと考えますので、もう少し理解を深めることのできる表現にしてほしいと思えます。

○企画調整課長（松本恭博） 委員の意見を踏まえて、この表現を検討させていただきたいと思えます。

○会長（齋藤成徳） 委員のおっしゃるように、もう少しわかりやすい表現に改定していくという回答でございました。その他ございませんか。

○委員（星川功） 最初に「若者が」というお話を伺って、改めて本文に目を通してみました。ご指摘のとおり、10ページに「若者が、夢を実現でき、活躍の場が広がるまちづくりを推進します。」とあるだけで、その項目が本編にないということに、若い方々も気づくのではないかと思います。若者が田舎から東京へ行かなくてもすむような手立てや、若い人たちの

活動支援や交流の場づくりといった項目があってもよいのではないかと思います。

○会長（齋藤成徳） 事務局どうぞ。

○企画調整課長（阿部雅治） ご意見を伺いましたので、検討させていただきます。書き方、どの辺に書くかについても内部で検討いたします。

○会長（齋藤成徳） 早速、検討いただくということです。その他何かございませんか。もしないようでしたら、今日のこの最終的な答申の原案づくりに皆さんからご賛同をいただきまして、今日十分にお聞きしましたご意見も繰り入れながら、最終的に8月10日に皆さんのご承認をいただきたいということであります。ありがとうございました。それではその他の件で何か事務局から連絡事項などございませんか。

○企画調整課長（阿部雅治） 会長からも言われたとおり、次回8月10日は全体会を開催し、今日いただいた意見についても整理をしまして、最終案としてご提案したいということになります。そこでご承認をいただいた後、市長への答申というようなスケジュールになります。また、ご案内を差し上げますのでよろしくお願いいたします。また、もう少し、文言の整理をしたいと考えてございますので次回までさせていただくことをご了承いただきたいと思います。そういうスケジュールですので、よろしくおねがいたします。

○会長（齋藤成徳） その他、みなさんからでないでしょうか。ないようですので、それでは、以上で本日の酒田市総合計画審議会を閉会いたします。お忙しい中、本当にありがとうございました。

閉会 午前 11時00分